The39th
Passenger Cars & Motorcycles
TOKYO MOTOR SHOW 2005
News vol.17 平成17年11月5日
第３９回東京モーターショー２００５ Passenger Cars & Motorcycles 乗用車・二輪車
"Driving Tomorrow!" from Tokyo みんながココロに描いてる、くるまのすべてに新提案。

先端技術の宝庫――部品エリア

幕張メッセ北ホールおよび西ホールには、数多くの部品メーカーのブースが軒を連ねている。部品メーカーにとってモーターショーは、ビジネスの場という意味合いが大きい。が、東京モーターショーはエンターテインメント性も強く意識したイベント。自社がどのようなテクノロジーを持っているかということを、エンドユーザーにアピールする絶好の機会でもある。

部品エリアにはB2B（企業対企業）の商談が目的のバイヤーだけでなく、クルマの技術に興味のあるユーザーも大勢訪れ、普段は開発や技術営業の第一線で活動しているメーカーの説明員に、熱心に技術的な質問を投げかける光景をあちらこちらで見かける。また、世界でもっとも優秀と言われる日本の自動車部品技術を見るため、アジア各国の自動車業界関係者や記者も数多く訪れている。

展示内容も自社のテクノロジーの特色や優秀性をユーザーに伝えるため、各社さまざまな工夫をこらしている。金属部品や半導体など、技術分野を絞り込んだ専門性の高いメーカーは、自社の部品がクルマのどの部位に使われているかということをクルマの模型や図解で表示。保有技術が多岐にわたる総合部品メーカーやグループ企業による共同出展ブースでは、いくつもの技術を組み合わせ、部品メーカーならではの発想による新しいコンセプトのシステムを提案しているケースが多い。

また、先端テクノロジーを気軽に体験できる各種シミュレーターも多数設置され、大人から子供まで、近未来のモータリゼーションのバーチャル体験を楽しんでいる。

今回の技術的な傾向としては、ハイブリッド、クリーンディーゼルなどの環境技術、赤外線暗視装置やレーダーを使用した安全技術、ITS関連、運転者の顔形や指の静脈などを読み取る生体認証を利用したセキュリティシステムなどの最新技術が目につく。

クルマに関するテクノロジーが一堂に会する部品エリアは、至るところが見どころと言っても過言ではないだろう。

見て触って乗って

加速する部品エリアのアミューズメント

技術のデパート、総合部品メーカー

Parts Zone

デンソー／アスモブース

ドライバーアシスタンスシステムのシミュレーター

多彩な展示の日立グループブース

北ホールには総合部品メーカーから専門メーカーまで、さまざまな形態のサプライヤーのブースが集中、カーテクノロジーの一大見本市を形成している。

デンソー／アスモブースでは、顔認証技術を使った「ドライバーアシスタンスシステム」のシミュレーターが人気の的だ。顔を読み取り、運転者ごとにシートポジションや空調を調節。さらに瞬きを計測して居眠り警告を発したり、心電計測で健康チェックをしたりと、さまざまな新機能を備えており、体験者は皆、興味津々な様子だ。ディーゼル関連テクノロジーも先進的。

アイシンブースには世界トップクラスの変速機ほか先端技術が多数

アイシングループは6社の共同出展。「レクサスGS」に傑出した走行安定性を与える「電動アクティブスタビライザー」や世界有数の技術を誇る各種自動変速機、ハイブリッドシステムなど、豊富な展示内容を誇っている。

カルソニックカンセイは、次世代車向けのコックピットモジュールを提案。ごく軽い操作でシフトチェンジが可能なモーターアシスト付きATシフター、フロントガラスに各種情報を映し出すヘッドアップディスプレイなどを装備しており、先進性を感じさせる。

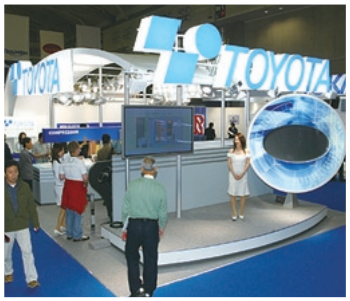
総合自動車部品メーカーを目指す**日立グループ**は指静脈個人認証技術による完全なキーレスエントリーシステムをはじめ、特殊鋼から電子部品まで多彩な展示。ハイブリッドカー向けの新型変速機は低コストと効率の高さを両立させるもので、注目を浴びていた。

三菱電機はITSや電装品を中心に展示。アイドリングストップ車向けの新型セルモーターは、従来型と比べると無音に近いと言えるほどの静かさ。世界有数というインバーター技術を生かし、ハイブリッド車用のエネルギーマネジメントシステムも展示している。

ITSや電装品で存在感を示す三菱電機

豊田自動織機のメインはプリウスなどハイブリッドカー向けの電動エアコンコンプレッサー。エンジン停止中でもエアコンが効くことから、トヨタのハイブリッドカーの商品力向上に大きな役割を果たした。

カルソニックカンセイが提案する次世代コックピット



豊田自動織機ブース

バラエティ豊かな専業メーカー

Parts Zone

帝国ピストンリングは技術の進歩を体感できる模型を出品

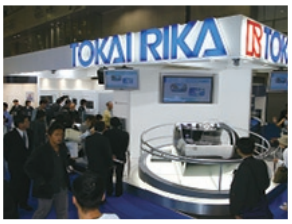
専業メーカーのブースも、要素技術の高さを生かした興味深い展示内容が多数見られる。

ピストンリング、シリンダーライナー最大手の**帝国ピストンリング**は、ピストンの摩擦ロスが昔と今日とでどれほど違うかを体験できる模型を展示。最新のピストンがほとんど力いらずで回るのには驚かされる。

ディーゼル技術に優れる**日本ガイシ**、**東京濾器**は、ディーゼル乗用車の排気ガスをクリーン化するデバイスを展示。**東海理化**は愛・地球博のトヨタ館で人気を博した「i-unit」の操作を仮想体験できるシミュレーターを設置している。

ディーゼルのクリーン化技術に注目

LED 技術の進歩は目ざましい



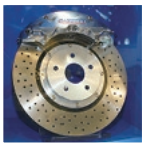
シミュレーターが人気の東海理化

小糸製作所ブース

ケーヒンブース

照明装置大手の**市光工業**は、次世代ヘッドランプ「AFS」に白色LEDを採用。真っ白に輝く照明は高級感抜群だ。**小糸製作所**もLEDヘッドランプを多数出品している。

ケーヒンは二輪車用の新型電子制御スロットル「EPT」を出品。**ミクニ**はキャブレターから簡単に置き換えられる二輪車用燃料噴射装置を展示している。ブレーキ大手の**曙ブレーキ**は、8個のピストンを使った超高性能ブレーキを展示。現在、スーパーカーを使ったテストを繰り返しており、プレミアム市場に打って出るための布石とする。**日本特殊陶業**は着火性のいいイリジウムプラグ、セラミック技術を生かしたセンサー類を展示している。



曙ブレーキは超高性能ブレーキ開発にチャレンジ

スパークプラグやセンサーなどを出品する日本特殊陶業

部品メーカーの展示で異彩を放っているのは**住友電気工業**。「バーチャルビジュアルアセンブリングシステム」は工場の作業環境をシミュレートし、工場労働者が働きやすい生産ラインの設計を支援するというもの。ライン構築技術をモーターショーで展示するのは非常に珍しいケースで、注目を集めている。

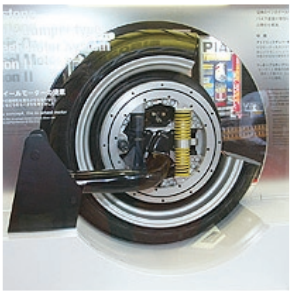
見て触って乗って

進化するタイヤ＆ホイールテクノロジー

Parts Zone

ポテンザRE050装着のフェラーリGG50がブリヂストンブースに

ブリヂストンはタイヤの環境性能を向上させるための新技術「エコロジーフォーカス・タイヤデザイン・テクノロジー」を参考展示。タイヤの変形が少なく、エネルギーロスを極小化することができるという。得意のインホイールモーターも展示している。



インホイールモーターモジュール

ミシュランは空気のいらない新発想タイヤ「Tweel」を参考出品し、注目を集めた。**住友ゴム工業**は非石油系素材のタイヤやランフラットタイヤがメイン。**横浜ゴム**は高性能スポーツタイヤ「ADVAN」シリーズを中心に展示している。

空気のいらない画期的なタイヤがミシュランブースに登場

ハイテクスチールホイールが登場

高性能タイヤ「ADVAN」が人気

ホイール技術も進化。**トピー工業**はスチールホイールのデザイン性、静粛性などを向上させるテクノロジーを披露。**リンテックス**は高強度鍛造アルミホイール、軽量スチールホイールを展示している。

東京モーターショー2005シンポジウム（11月3日開催）

自動車リサイクル法シンポジウム

クイズでがってん！自動車リサイクル法どっちが正しいでSHOW

■出演
司会進行役　石原江里子さん　ナレーター
リサイクル博士　今城高之氏　有限責任中間法人 自動車再資化協力機構理事
凸凹リサイクル　深月智光さん　漫才コンビ「姫さまナイト」
児玉　勉さん　漫才コンビ「姫さまナイト」
■主催　経済産業省
環境省、（財）自動車リサイクル促進センター、（社）日本自動車工業会

来場者参加型クイズ形式という、ひと味ヒネった演出。会場ステージに、進行役の石原さんに呼ばれて「リサイクル博士」に扮した今城理事、「リサ君」と「イクル君」役の姫さまナイトの2人が次々登場。

自動車リサイクル法がなぜ出来たのか、リサイクルのやり方は―など着ぐるみの「自動車リサイクル法さん」（自動車リサイクル法のキャラクター）が聞く質問に、「リサ」、「イクル」の両君がそれぞれ答え、来場者に正しいと思う方をカードで示してもらう仕組み。そして「リサイクル博士」がどちらが正解か判定を下し、その理由をやさしく解説する。

午後2時から2回に分けて行われ、会場は通常のシンポジウムと違って、小さな子供連れのファミリーで一杯。トラフィック戦隊アンゼンジャーの途中出演もあって、子供たちは大喜びだったが、質問には正解率ほぼ100%。成績優秀者にはミニカーなどをプレゼント、来場者の全員にモーターショー記念の入ったリサイクル法のステッカーが配られた。

会場入り口の手前にはトヨタ、日産提供の解体容易性を高めたインパネ、フューエルタンク、リサイクル材のエンジンアンダーカバーなどが置かれており、実際に手で触りながら感心したり、子供に説明したりする来場者が多く見受けられた。

TOPICS トピックス

ぼくも私も“お茶の水博士”

「親子で学べるクリーンエネルギー車教室」開催

燃料電池カートが
教室内を“テスト走行”

「燃料電池車って、なぜ、環境にやさしいの？」――そんな素朴な疑問に対して、いろいろな実験キットを使ってわかりやすく学べるのが「親子で学べるクリーンエネルギー車教室」。国際会議場内で土曜・祝祭日、朝日新聞と朝日小学生新聞の協力を得て、一般募集した小学生（高学年以上）をもつ親子などを対象に開催。

授業時間は40分ほどだが、ガソリンで走るクルマが抱える環境問題をお兄さん、お姉さんのやさしい“先生”と質疑応答形式で楽しくお勉強した後、テーブルごとにミニカーの燃料電池車などを走らせる実験を行ったりして、クリーンエネルギーに対する理解を深めていた。

クルマも環境、施設も環境

会場は毎日多くの人でごった返しているのに、ゴミひとつ見当たらない。会場周辺も含め、クリーンスタッフが朝から晩まで徹底的に清掃してくれているおかげなのだ。

環境への配慮はクルマばかりではない。東京モーターショーは施設全体が環境に優しい様々な工夫に包まれている。例えばイベントホールの通路には、再生可能な植物のトウモロコシを原料として生成される、ポリ乳酸繊維を使ったパンチカーペットが採用されている。ポリ乳酸繊維は石油から作る合成繊維と違って、100%自然循環が可能な新しい繊維。

また、北ホール南側ガラス壁の大きな切り文字サインには、これまでの粘着材ではなく、シートの裏面にミクロの吸盤による非塩ビ系のインクジェット出力メディアを使用している。

VIP来場
2005年11月4日（金）

デンマーク王国
フレディ スヴェイネ
特命全権大使

チュニジア共和国
サラ・ハンナシ
特命全権大使

今日のイベント（予定）　2005年11月5日（土）

＊シンポジウム
14：00～15：30　第3回 みんなで考えようクルマの税金（国際会議場2階・国際会議室）

＊白バイデモ
12：00～12：30
14：00～14：30　フェスティバルパーク（西休憩ゾーン）

＊少年少女モーターサイクルスポーツスクール
10：00～12：10
14：00～16：10　中央休憩ゾーン 特設会場

＊トラフィック戦隊アンゼンジャーショー
10：30～11：10
13：00～13：40
15：30～16：10　フェスティバルパーク（西休憩ゾーン）

＊クリーンエネルギー車同乗試乗会
10：30～16：30　特設専用コース（幕張海浜公園内　メッセ周辺公道）

※天候等の都合により予定が変更になる場合があります。

KONICA MINOLTA
ON DEMAND PUBLISHER C-51N
The essentials of imaging
毎分51枚　高速・高画質フルカラー出力
必要な時に必要なだけ、さまざまなニーズに柔軟に対応。
このニュースは コニカミノルタ ON DEMAND PUBLISHER C-51Nで出力しています。
コニカミノルタ ビジネスソリューションズ株式会社
ODI事業部
TEL　03-5205-7820
Email　odi-info@bj.konicaminolta.jp
URL　http://www.ebook-print.com

TOKYO MOTOR SHOW 2005
11月4日の入場者数　92,000
入場者数累計　1,274,700
東京モーターショーニュースVol.17　2005年11月5日発行
発行所　社団法人 日本自動車工業会 広報室
〒105-0012　東京都港区芝大門1丁目1番30号　日本自動車会館
TEL.03-5405-6119　FAX.03-5405-6136
WEB SITE www.tokyo-motorshow.com
JAMA